

オイルクーラキット 取付説明書



取付けは必ず専門業者に依頼してください。
取扱説明書を先に読んでから作業を行なってください。
本書はご使用前に必ずお読みください。

本書は、お読みになった後も本製品の側に置いて活用してください。

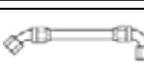
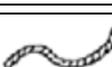
本製品は、下記に示す車両のみ取付け可能です。
万が一お車と本製品の型式等が異なる場合には、速やかにお買い上げの販売店にご連絡ください。

商 品 名	車種別オイルクーラキット
用 途	自動車専用部品
コ ー ド	15004-AN011
取付説明書品番	E04261-N37162-00 Ver.3-3.03
整備要領書品番	A008011 / A008017(RPS13 中期)
メーカー車種	ニッサン 180SX RPS13
エンジン型式	SR20DET
年 式	1991年01月～1996年07月
備 考	<p>【注意事項】</p> <ul style="list-style-type: none">・純正ウォッシュタンクは使用できなくなります。・エアガイドは純正バンパ対応です。・AT車未確認・HKSインタークーラキットSタイプ及びRタイプ併用可(GTタイプは未確認)・アダプタサーモAssyに油温・油圧センサ用にM12 P=1.25のサービスホールがあります。・純正オイルフィルタは再使用できません。・オイルフィルタ交換時には、トヨタ純正オイルフィルタ(品番:90915-10001)をご使用ください。 <p>【別途必要部品】</p> <ul style="list-style-type: none">・ウォッシュタンク(日産純正:27480-H1001)・導線,ギボシ等(純正ウォッシュタンクへの配線を延長するため)・新品のエンジンオイルを用意してください。・変換アダプタM12-PT1/8(2面幅17mm)(温度センサ取付けフィッティングがPT1/8の場合)

改訂の記録

改訂	日 付	記 載 変 更 内 容
3-3.01	2004/11	初版
3-3.02	2005/04	パーツリスト変更、記載事項変更
3-3.03	2008/12	備考欄追記、記載方法変更

パーツリスト

連番	コード	品名	数量	形状	備考
1	15006-AK004	オイルクーラコア	1		
2	2599-SA012	取出シアタッチメントAssy	1		
3	2599-SA013	アダプタサーモAssy	1		
4	15600-0201320A	アタッチメントボルトA	1		3/4-16 UNF
5	15999-AK001	Oリング JASO 3056	1		内径 55.6
6	15999-AK003	Oリング JASO 1026	1		内径 26.2
7	G15721-N37010-00	オイルクーラステー 1	1		
8	G15721-N37020-00	オイルクーラステー 2	1		
9	G15721-N37030-00	オイルクーラステー 3	1		
10	15721-1392870A	アダプタサーモステー	1		
11	G15731-N37050-00	エアガイド 1	1		
12	G15731-N37060-00	エアガイド 2	1		
13	G15731-N37070-00	エアガイド 3	1		
14	G15731-N37080-00	エアガイド 4	1		
15	G15750-K00650-00	オイルクーラホース 1	1		45° -25cm-45°
16	G15750-K00150-00	オイルクーラホース 2	2		0° -25cm-0°
17	G15750-K00660-00	オイルクーラホース 3	1		45° -55cm-90°
18	15719-077100	スパイラルチューブ	1		D=20 L=1500
19		ボルトM8 L=15	2		P=1.25
20		ボルトM6 L=20	11		P=1.0
21		キャップボルトM8 L=35	3		P=1.25
22		ボタンボルトM4	18		

パーツリスト

連番	コード	品名	数量	形状	備考
23		皿バネ座金M8	3		
24		プレーンワッシャM8用	2		
25		プレーンワッシャM6用	11		
26		プレーンワッシャM4用	36		
27		スプリングワッシャM8用	2		
28		スプリングワッシャM6用	11		
29		フランジ付ナット M6	10		P=1.0
30		ナットM4	18		
31	15118-001100	オイルフィルタ	1		TOYOTA 90915-10001
32		タイラップ(中)	10		
33		タイラップ(大)	10		
34	15719-030261	隙間テープ	4		
35	15428-009100	オスメスエルボPT1/8	1		油圧計取付け用
36	93050-002100TP	取扱説明書	1		
37	E04261-N37162-00	取付説明書	1		

1. ノーマルパーツ取外し

作業を始める前に、エンジンオイル、冷却水を準備しバッテリーのマイナス端子を取外してください。
必ず整備要領書及び取扱説明書に準じて作業を行なってください。

- (1) アンダカバーを取外してください。
- (2) 運転席側フェンダプロテクタを取外してください。
- (3) フロントバンパ及びレインフォースを取外してください。(図1-1, 図1-2)
- (4) 後期車両で当社インタークーラキット装着車両は、アウトレットパイプ 1を取外してください。
- (5) ウォッシャタンクからウォッシャ液を抜き、ゴムホース及びカプラを取外してください。
- (6) ウォッシャタンクを、固定しているブラケットごと取外してください。
- (7) エンジンオイルを抜取ってください。
- (8) オイルフィルタを取外してください。
アドバイス
・取外したとき、オイルがこぼれますので、ウエス・受け皿等を用意してください。

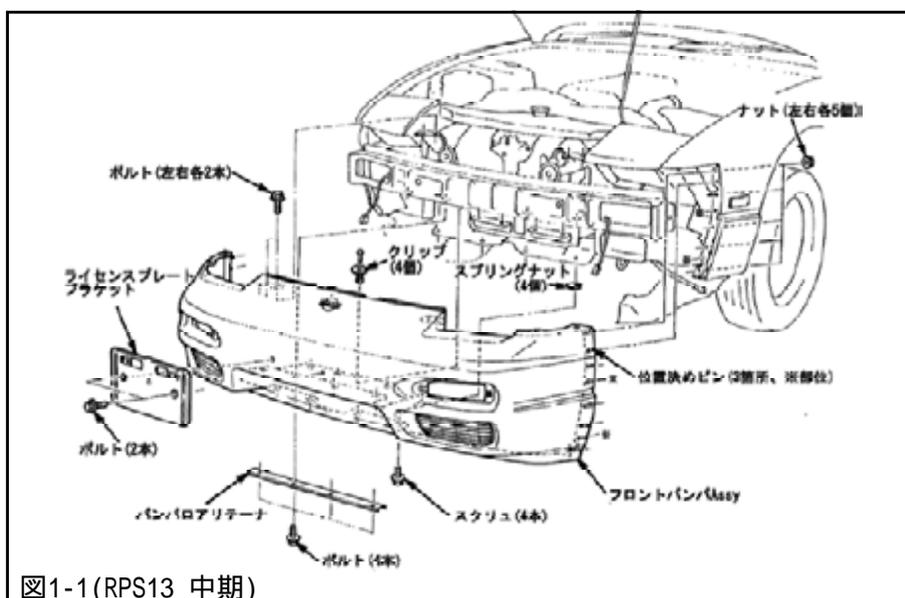


図1-1(RPS13 中期)

(8) オルタネータサポートのボルト2本を取外してください。
(図1-3)

アドバイス

・ボルトが破損しないように、残りのボルト2本をゆるめておいてください。(図1-3)

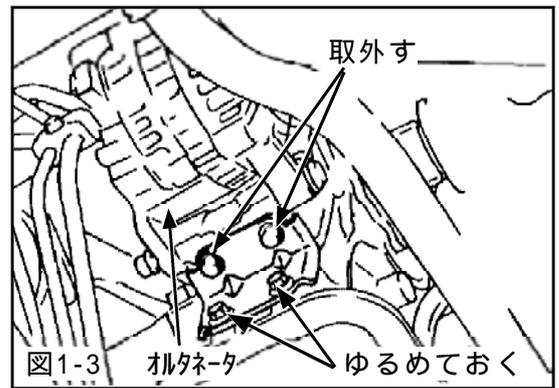


図1-3 オルタネータ ゆるめておく

(9) オイルフィルタブラケットを固定しているボルトをキャップボルトM8 L=35, 皿バネ座金M8に交換してください。(図1-4)

- ・ P21 : キャップボルトM8 L=35 (×3)
- ・ P23 : 皿バネ座金M8 (×3)

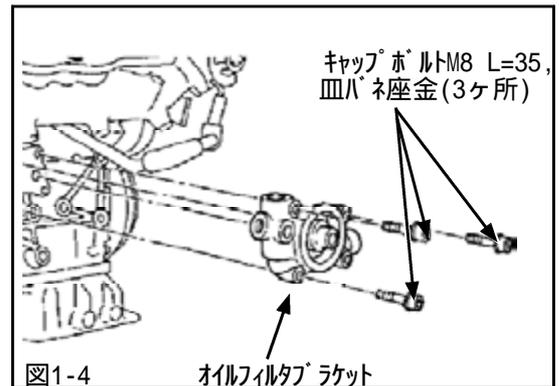


図1-4 オイルフィルタブラケット

2. キットパーツ取付け

キット内パーツ(オイルクーラコア, アタッチメントボルト, オイルクーラホース, アダプタサーモAssy, 取出しアタッチメント)のシール面, ネジ部, テーパー部に、キズや異物の混入がないことを確認してください。

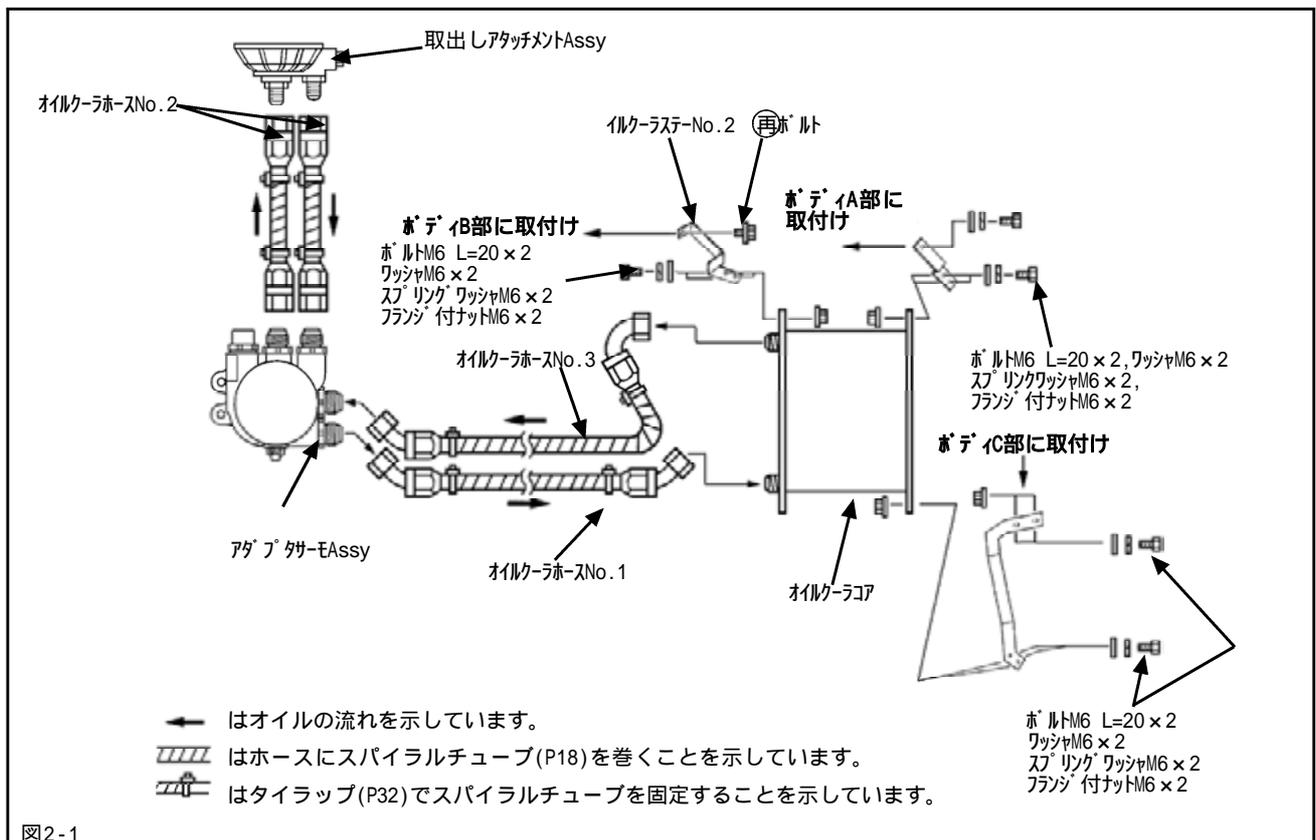


図2-1

2 - 1 . オイルクーラコアの取付け

(1) エアガイド 1~4を組立ててください。(図2-1-1)

- ・ P11 : エアガイド 1 (×1)
- ・ P12 : エアガイド 2 (×1)
- ・ P13 : エアガイド 3 (×1)
- ・ P14 : エアガイド 4 (×1)
- ・ P22 : ボタンボルトM4 (×18)
- ・ P26 : プレーンワッシャM4用 (×36)
- ・ P30 : ナットM4 (×18)

アドバイス

- ・ エアガイドを組立てる際、走行風はエアガイドの内側を流れるためボルトの頭がエアガイドの内側に向くように組立ててください。(図2-1-2)

(2) オイルクーラコアにオイルクーラステー 1~3, エアガイド 1~4を仮組みしてください。

(図2-1, 図2-1-1)

- ・ P1 : オイルクーラコア (×1)
- ・ P7 : オイルクーラステー 1 (×1)
- ・ P8 : オイルクーラステー 2 (×1)
- ・ P9 : オイルクーラステー 3 (×1)
- ・ P20 : ボルトM6 L=20 (×8)
- ・ P25 : プレーンワッシャM6用 (×8)
- ・ P28 : スプリングワッシャM6用 (×8)
- ・ P29 : フランジ付きナットM6 (×8)

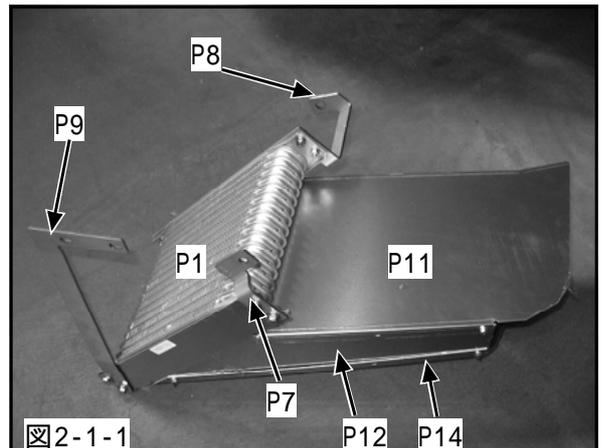


図2-1-1

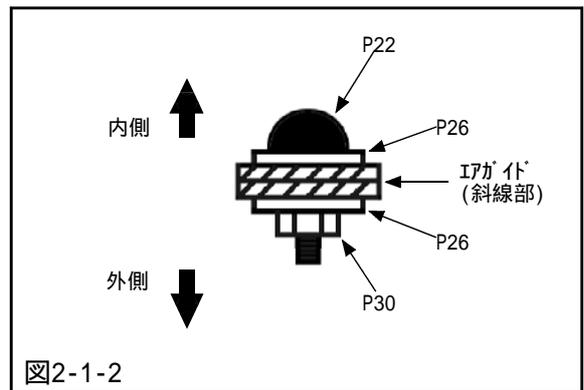


図2-1-2

(3) オイルクーラステー 1をボディのA部に仮付けしてください。(図2-1, 図2-1-3)

- ・ P20 : ボルトM6 L=20 (×1)
- ・ P25 : プレーンワッシャM6用 (×1)
- ・ P28 : スプリングワッシャM6用 (×1)

(4) オイルクーラステー 2をボディのB部に仮付けしてください。(図2-1, 図2-1-3)

- ・ ボルト (純正) (レインフォース固定用)

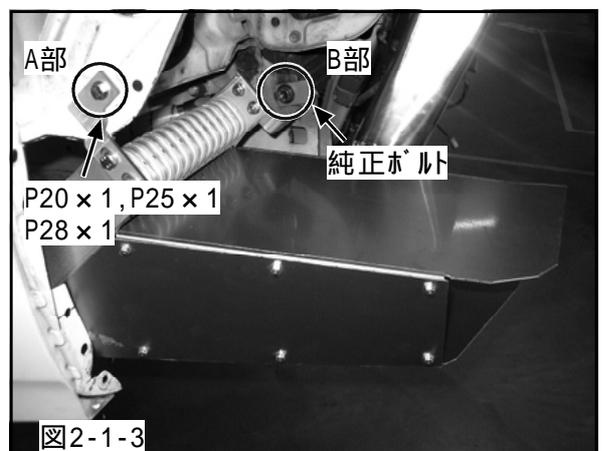


図2-1-3

(5) オイルクーラステー 3をボディのC部に仮付けしてください。(図2-1, 図2-1-4)

- ・ P20 : ボルトM6 L=20 (×2)
- ・ P25 : プレーンワッシャM6用 (×2)
- ・ P28 : スプリングワッシャM6用 (×2)
- ・ P29 : フランジ付きナットM6 (×2)

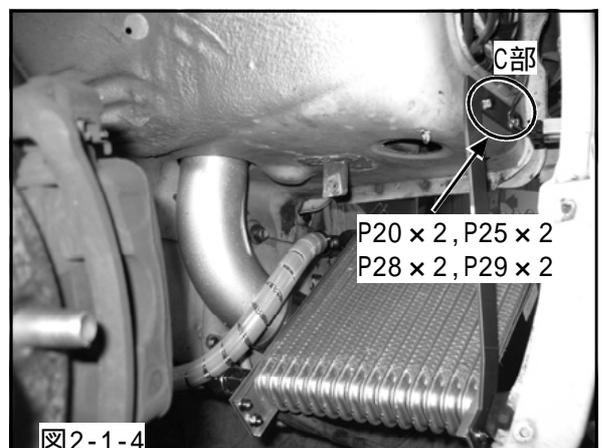


図2-1-4

- (6) フロントバンパとエアガイドが干渉しない様にエアガイドとオイルクーラコアの位置を調整し、本締めしてください。また、インタークーラ装着車両はインタークーラパイプとも干渉しないように位置を調整してください。

⚠ 注意

オイルクーラコアを車両に取付ける際、無理な力が加わらないように取付けてください。
振動等により、オイルクーラコアが破損する恐れがあります。

- (7) エアガイドの走行風導入口の外側に隙間テープを貼付け、フロントバンパとエアガイドの干渉を防いでください。
・ P34 : 隙間テープ
- (8) インタークーラパイプとエアガイドが干渉する場合は、隙間テープを使用して干渉を防いでください。
・ P34 : 隙間テープ

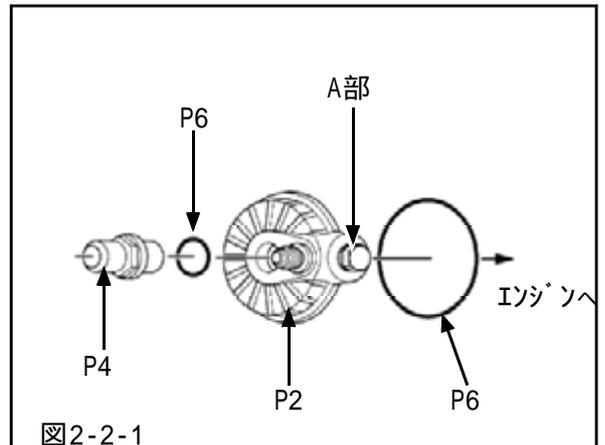
2-2 . 取出しアタッチメントの取付け

- (1) Oリング JASO 1026, Oリング JASO 3056にエンジンオイルを薄く塗布してください。
・ P5 : Oリング JASO 3056 (×1)
・ P6 : Oリング JASO 1026 (×1)

- (2) 取出しアタッチメントAssyの内側の溝にOリング JASO 3056を、アタッチメントボルトAの溝にOリング JASO 1026を組付けてください。(図2-2-1)
・ P2 : 取出しアタッチメントAssy (×1)
・ P4 : アタッチメントボルトA (×1)

取付け時の脱落防止のため、Oリングは溝に対して大きくなっています。

- (3) 取出しアタッチメントAssyをエンジンのオイルフィルタ取付け面に取付けてください。(図2-2-1, 図2-2-2)
・ アタッチメントボルトA (P4)
(2-2.(2)でOリングを取付けたもの)

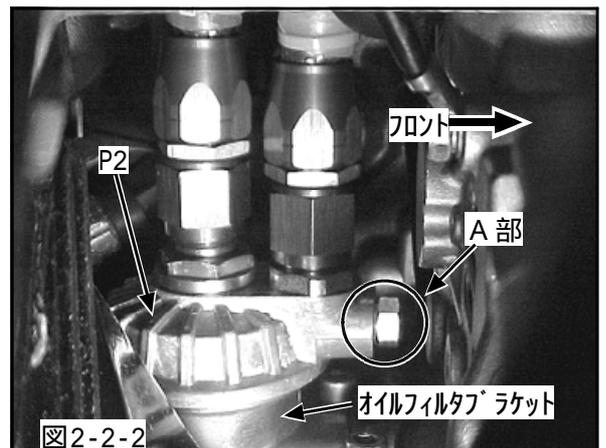


締付けトルク N・m(kgf・m)
T=14.7~17.6(1.5~1.8)

この際、図中A部がエンジン前方になるようにしてください。(図2-2-1, 図2-2-2)

⚠ 注意

アタッチメントボルトAを締付ける際、トルクレンチを使用してください。
締付け不良によるオイルもれ、締付け過ぎによるエンジンブロックの破損等を引き起こす恐れがあります。



2 - 3 . アダプタサーモAssyの取付け

(1) アダプタサーモステーをオルタネータと共締めしてください。(図2-3-1)

- ・ P10 : アダプタサーモステー (× 1)
- ・ 純正 : ボルト
- ・ 純正 : スプリングワッシャ
- ・ 純正 : プレーンワッシャ

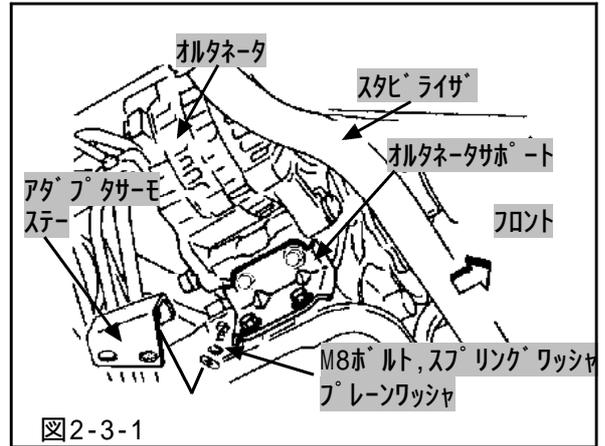


図2-3-1

(2) アダプタサーモAssyをアダプタサーモステーに仮付けしてください。(図2-3-2)

- ・ P3 : アダプタサーモAssy (× 1)
- ・ P19 : ボルトM8 L=15 (× 2)
- ・ P24 : プレーンワッシャM8用 (× 2)
- ・ P27 : スプリングワッシャM8用 (× 2)

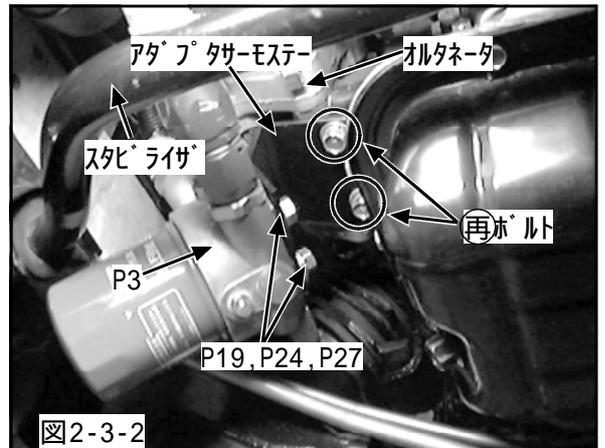


図2-3-2



警告

油温・油圧センサライン取付けの際、エンジンルームの部品と干渉しないようにしてください。
この時、メンバより下に出ないように取付けてください。
油温・油圧センサライン及びハーネスは車両側に固定しないでください。
エンジンの振動によって引張られ、破損する恐れがあります。

アドバイス

- ・ オスメスエルボPT1/8はセンサの取回し方やクリアランス確保の為、必要に応じて使用してください。
- ・ P35 : オスメスエルボPT1/8 (× 1)

2 - 4 . オイルクーラホースの取付け

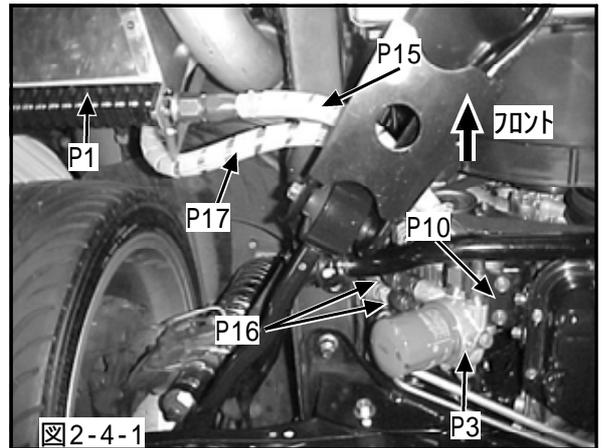
(1) スパイラルチューブを以下の長さに切断してください。

・ P18 : スパイラルチューブ (× 1)

- ・ 25cm . . . 2本 (P18)
- ・ 25cm . . . 1本 (P18)
- ・ 55cm . . . 1本 (P18)

(2) (1) で 25cm に切断したスパイラルチューブ (P18) をオイルクーラホース 2 に、25cm に切断したスパイラルチューブ (P18) をオイルクーラホース 1 に、55cm に切断したスパイラルチューブ (P18) をオイルクーラホース 3 に巻付け、両端をタイラップ (中) で固定してください。 (図 2-1)

- ・ P15 : オイルクーラホース 1 (× 1)
- ・ P16 : オイルクーラホース 2 (× 2)
- ・ P17 : オイルクーラホース 3 (× 1)
- ・ P32 : タイラップ (中)



(3) オイルクーラホース 2 (2ヶ) をアダプタサーモ Assy, 取出しアタッチメント Assy に仮付けしてください。 (図 2-1, 図 2-4-1)

(4) オイルクーラホース 1, 3 をオイルクーラコア, アダプタサーモ Assy に仮付けしてください。 (図 2-1, 図 2-4-1)

(5) オイルクーラホース 1, 3 がラジエータロアホース、及び走行時にオイルフィルタとスタビライザと干渉しないようにアダプタサーモ Assy の位置を調整して固定してください。

アドバイス

- ・ ラジエータロアホースと干渉する場合はラジエータロアホースを約 20mm 切り取り、干渉しない位置で固定してください。
- ・ 当社インタークーラキット装着車両で、インタークーラアウトレットパイプ 1 がオイルクーラコア、エアガイド、ホース等に干渉する場合は、パイプ側を調整して取付けてください。

(6) 取付け時に各部分に干渉しないよう調整してから、仮付けしたオイルクーラホースを本締めしてください。

締付けトルク N・m (kgf・m)

T=14.7 ~ 17.6 (1.5 ~ 1.8)

⚠ 注意

ラジエータロアホースとオイルクーラホースが干渉しないよう取付けてください。
干渉したまま使用すると、ラジエータロアホースが破損する恐れがあります。
オイルクーラホースのフィッティングにシールテープを使用しないでください。
テープがエンジン内部に混入し、エンジンが破損する恐れがあります。

2 - 5 . オイルフィルタの取付け

(1) オイルフィルタの O リング部にエンジンオイルを薄く塗布しアダプタサーモ Assy に取付けてください。

・ P31 : オイルフィルタ (× 1)

この際、オイルフィルタがアンダカバーに干渉しないように、アダプタサーモ Assy の取付け位置を調整してください。

締付けトルク N・m (kgf・m)

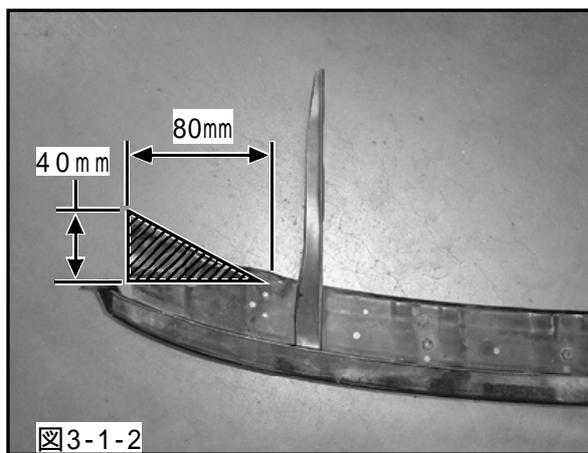
T=14.7 ~ 17.6 (1.5 ~ 1.8)

3. ノーマルパーツ加工

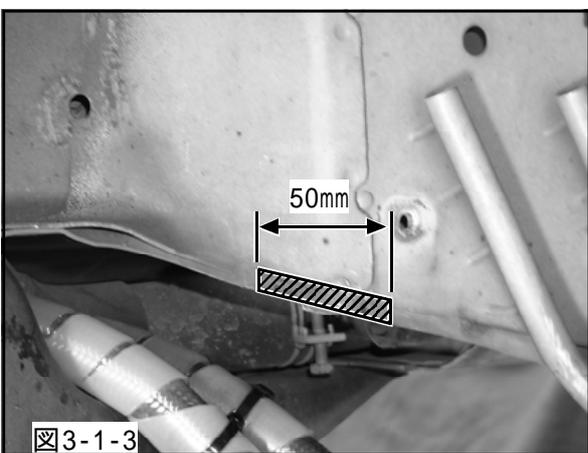
- (1) 運転席側フェンダの図の斜線部分を切取り、エアガイド 2と干渉しないようにしてください。
(図3-1-1)



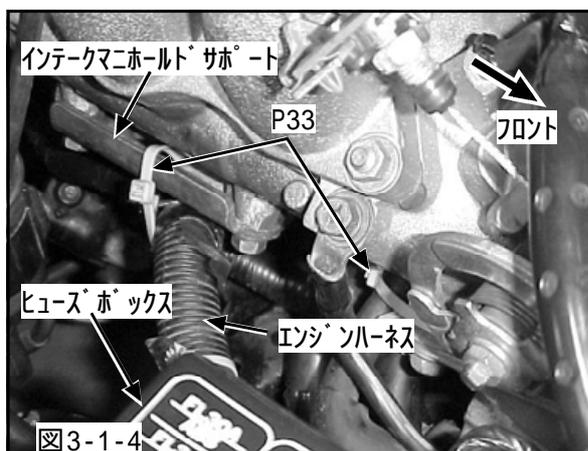
- (2) エアガイド 1と干渉しないように、レインフォースの図の斜線部分を参考にして折り曲げてください。
(図3-1-2)



- (3) オイルクーラホースとボディが干渉しないように、図を参考にボディの斜線部分を削り取ってください。
(図3-1-3)



- (4) エンジンハーネスをインテークマニホールドサポートに固定してください。(図3-1-4)
・P33: タイラップ(大)



3. ノーマルパーツ取付け

(1)エンジンオイルを適量入れてください。

アドバイス

・HKS製エンジンオイルのご使用をお薦めいたします。

(2)バッテリーのマイナス端子を取付けてください。

(3)エンジンを始動し、以下の確認を行なってください。

- ・エンジンを3分以上運転した後、(エンジンオイルが75 以)オイル漏れがないことを確認してください。
- ・エンジン暖気後、高回転までエンジンを回し、オイルクーラホースがボディ・ハーネス・インタークーラパイプに干渉しないことを再度確認してください。

注意

オイルクーラホースがボディ等に干渉しないように取付けてください。
干渉するとオイルクーラホースに無理な力がかかりフィッティングが折れる恐れがあります。

(4)フロントバンパを取付けてください。

(5)運転席側インナフェンダを取付けてください。

(6)アンダカバーを取付けてください。

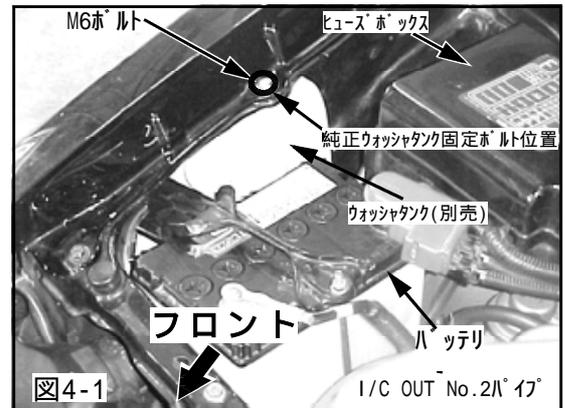
4 - 1 . ウォッシャタンク(別売)の取付け

(1)バッテリーを取外し、ウォッシャタンク(別売)を純正ウォッシャタンクを固定していたボルト位置に、純正のM6ボルト又はタイラップ(大)を使用して取付けてください。(図4-1)

・P33:タイラップ(大)

(2)純正ウォッシャタンクに取付けられていたハーネスを市販のリード線、ギボシ等を使用して延長し、ウォッシャタンクに配線してください。

(3)ウォッシャタンクにウォッシャ液を注入してください。リアワイパー取付け車両は、トランク内までウォッシャ液の配管がなされているため、純正ウォッシャタンクをトランク内に移動し、配管を加工して取付けることもできます。



取付け作業終了後、必ず取扱説明書の「取付け後の確認」に従って、確認作業を行なってください。